

令和5年度第1回 新川地域医療推進対策協議会、新川地域医療構想調整会議
及び新川地域 医療と介護の体制整備に係る協議の場 議事要旨

開催日時：令和5年9月7日（木）19：00～20：00

開催場所：黒部市民会館101会議室

議事要旨

- 1 開会
- 2 挨拶（事務局）
- 3 議題1～6について説明
- 4 質疑応答
- 5 閉会の挨拶（新川厚生センター所長）

【質疑応答】

- 1 地域医療構想について
- 2 令和5年度富山県転換意向調査について
- 3 紹介受診重点医療機関について
- 4 富山県医師確保計画の策定について
- 5 富山県外来医療計画について
- 6 新川医療圏地域医療計画等について

（委員）

資料1 機能別病床数の総数と報告5-1 病床機能報告の病床総数に差があるのは何故か。

（事務局）

報告5-1の病床機能報告は前年度の報告であり、報告時期が一致していない。刻々と変わるものなので、違いが出ている。

（委員）

医師確保について、大学と県は連携して行っているのか。

（事務局）

大学に就学資金貸与の特別枠があり、医師が県内に勤務。

また、独自枠として地元枠や寄付講座の設定など医師の県内定着支援のため様々な取り組みを行ってきており、今後も連携しながら医師確保に努めていく。

（委員）

特別枠（麻酔科、小児科、産婦人科）以外の診療科にはあまり働きかけていないのではないか。他の診療科は確保が難しい状況。

（事務局）

独自枠は、今の6年生から卒業後3年間は大学で勤務するという条件が付いたと聞いている。特別枠は状況を見ながら脳神経内科、感染症内科等見直しをしていきたい。

（委員）

県にリーダーシップを発揮して取り組んでもらいたい。

（会長）

独自枠は3年と言わず、9～10年にすればよいのでは。